

一般質問

ここがポイント! そこが聞きたい!!

地域で一丸となって
子供の日常を充実させる
ことについて

市議団きせき代表 倉林 益代

問 子供達のためになる活動をワンストップで、検討実行できる組織・人材バンクを創設し、子供たちが、地域人材と共にスポーツ文化活動を通して継続的に多様な経験を重ねることや地域で一丸となった子育ての機会にできると考える。そこで、子供達の休日や放課後の居場所である学童保育室及びスポーツ少年団の現状とそれらを充実させるためにどのような援助ができるか伺う。

答 市では市内22か所の学童保育室へその運営を委託し、それぞれの学童保育室が趣向を凝らし特色ある運営を行っています。学童保育室ごとに企画を検討し多様なイベントを行っています。また、今後は更なる交流イベントのヒントになるよう学童保育室間で情報を提供し合ったり、市が事例を紹介するなどの援助を検討していきます。今後も子供達がいきいき過

ごせるよう、より良い学童保育事業の実施をしていきます。また、スポーツ少年団は令和4年度で30団あり、736人の団員がいます。スポーツ少年団に対する支援については、活動費助成として、交付金の交付のほか、学校体育施設や公園施設内の体育施設を利用する場合、一部の施設を除いて使用料を全額減免しています。指導者資格の取得に必要な経費の助成については、他自治体の事例なども含め研究していきます。

【その他の質問】
不登校児童生徒対応について
ごせるよう、より良い学童保育事業の実施をしていきます。また、スポーツ少年団は令和4年度で30団あり、736人の団員がいます。スポーツ少年団に対する支援については、活動費助成として、交付金の交付のほか、学校体育施設や公園施設内の体育施設を利用する場合、一部の施設を除いて使用料を全額減免しています。指導者資格の取得に必要な経費の助成については、他自治体の事例なども含め研究していきます。



元気な挨拶 少年団

五歳児死体遺棄事件を
風化させず

本庄の子どもは市で守る
市議団大地代表 内田 英亮

問 市として虐待を把握していないながらも五歳の児童が亡くなってしまった事件。尊い幼い命が失われることが二度とないよう内部・外部で検証し、業務に反映すべき。現状での虐待対応の強化は。また、栃木県小山市のようにオレンジリボンモニュメントの設置、そして高崎市が「高崎の子どもは高崎で守る」ため準備を進める市独自の児童相談所設置を本市も検討するべきでは、と提案する。

答 市の対応の検証は、亡くなられたお子さんや関係機関とのこれまでの関わりについて情報を集め、時系列で整理をするなどし、詳細な把握に努めています。また、今後虐待のおそれのある事案等に対する取組の一例として、警察への相談強化があります。今まで以上に早い段階から、もしくは心配される状況が少しでも把握できた場



オレンジリボンモニュメント(小山市)

合にはその時点で警察に情報を伝えるように努めています。検証委員会に関する現状ですが、市の検証委員会は、弁護士や犯罪心理学が専門の大学教授などの方々を委員として設置し、第1回検証委員会を7月7日に実施する予定です。埼玉県東部の検証委員会は、検証予定と伺っています。

【その他の質問】
少子化と市の未来を見据えた、今後の学校給食について
モニュメントの設置や市独自の児童相談所の設置については、ご提案として受け止めていきたいと思えます。今回の件を総合的に考えたときに根本には、子どもを基点とした仕組みづくりが必要であると考えています。

一般質問とは、市の行政事務の状況や将来の方針などをただしたり、報告を求めたりするもので、定例会ごとに行われます。今定例会では17名の議員が質問を行いましたので、主なものの要旨を掲載いたします。なお、本文中の「見出し」及び「問」は、質問者自身が責任をもって作成したものです。

詳しい内容は、会議録(8月下旬発行予定)を議会事務局、児玉総合支所、はにぼんプラザ、図書館、公民館及び市議会ホームページで閲覧することができます。
<https://ssp.kaigiroku.net/tenant/honjo/pg/index.html>



東日本に今後も働きかけていく必要があると考えています。駅周辺に駐車場を確保することについては、今年度作成する「本庄市地域公共交通計画」の中で、駅利用者などの人の流れの調査や、近隣住民のアンケート調査等も実施し、一時利用の駐車場の需要や必要性を分析し、地域住民や観

J R児玉駅について
自由民主党 小林 猛
本庄クラブ代表

問 JRと協議の上、有人化の検討をしていただくとともに、駅の西側や東側に市民の駐車場を確保することについて、併せて、児玉駅前タクシーを常駐することについて伺います。

答 は、駅を利用する市民の利便性を大きく損なうことのないよう、市としてもJR東日本に今後も働きかけていく必要があると考えています。駅周辺に駐車場を確保することについては、今年度作成する「本庄市地域公共交通計画」の中で、駅利用者などの人の流れの調査や、近隣住民のアンケート調査等も実施し、一時利用の駐車場の需要や必要性を分析し、地域住民や観



J R児玉駅

【その他の質問】
都市計画道路について

光客にとっても利便性の高い、交通結節点としての駅の役割やあり方を検討していきます。タクシーの常駐は、コロナ禍もあり、利用者が減少している現状では、案内板に書かれた連絡先に電話をして呼んでいただいています。今後、まちづくりの進展等で一定の需要が見込まれる場合は、タクシー協会に対して常駐の提案をしたいと考えています。駅舎の活用については、賃賃料や人件費なども発生しますので、誰がどのように運営するのが良いのか、また、児玉地域の特性も活かせる具体的な活用方法を、先進事例も参考にしながらJR東日本と連携して考えていきます。

空き家対策及び
活用方法について

公明党代表 栗田 弘志

問 全国でも増加が続いている「空き家問題」。本庄市においても空き家が増え続けている。市民が安全で安心して暮らせる住みよい街をつくるためには管理不全な空き家を無くす取組が必要である。倒壊等の危険な空き家について代執行を行った事例があるか伺う。また、管理不全な状態となっている空き家については財産管理制度の積極的活用が必要と考えるが、伺う。

答 市では、空き家等管理サービス事業者登録制度や空き家バンク、空き家利活用補助金の創設のほか、適正管理に関する意識の醸成や管理不全の新たな空き家を生み出さないために、個別相談の実施やリーフレットの配布など様々な取組を実施しています。昨年度、本市で初めてとなる略式代執行を実施しました。当該空き家は、腐朽・破損が



【その他の質問】
子どもの貧困について

激しく、近隣住民や隣接道路の通行人・通行車両等に不安上著しく危険となる恐れがあったため、令和3年3月2日に特定空き家に認定し、除却する旨の公告や物件調査等を経て、同年9月6日に除却工事を完了しました。財産管理人制度については、申立人が裁判所に預納金を支払うケースが多く、預納金を超える資産、かつ処分の見込みがないと費用の回収ができないなど、財政面の課題があります。所有者が不明の管理不全な空き家の場合には、非常に有効な制度ですので、必要な時に活用できるよう、引き続き他市の事例を研究していきます。

公共施設の現状と今後の取組について

市議団未来代表 林 富司

問 高度経済成長期に建設された多くの公共施設も老朽化が進み、また、少子高齢化により、社会保障関連経費も増加傾向にある中で、施設の維持管理も迫られ、財政状況も厳しいものがあります。そうした中においても災害時住民の命を守るための避難所でもあります。そこで公共施設の耐用年数を経過した施設の現状及び改修基準について、また、今後の公共施設の改修計画について伺います。

答 市では、本庄市公共施設再配置計画、本庄市公共施設等総合管理計画（インフラ編）、本庄市公共施設維持保全計画を策定し、公共施設の管理や適正化に取り組んでいます。施設の耐用年数は日本建築学会が示す「建築物の耐久計画に関する考え方」に基づき構造種別ごとに設定しています。現在耐用年数を経過している公共施設は、西五十子・金屋・本町

・長浜市営住宅、太駄文化財収蔵庫、日本庄警察署前文化財収蔵庫の6施設です。各市営住宅の破損や不具合箇所は、随時修繕等を行い、日常的に安全を確保しています。改修基準や改修サイクルは、各施設の耐用年数を踏まえ、計画改修や大規模改修の目標年数を定めています。公共施設等の老朽化による大規模改修等は、市の財政にとつて大きな負担となっております。今後、社会状況や財政状況、さらには市民の皆様のご意見やご要望等を十分に把握した上で、各計画の見直しを図り、持続可能な公共施設の適正管理に努めていきます。（企画課）

【その他の質問】
・教科担任制の取り組みについて



塙保己一記念館の所蔵資料集の出版と活性化について

小賀野 健司(市議団未来)

問 塙保己一記念館が新しくなりましたが、資料集など図録は一向に新しくなっておりません。塙保己一没後200年を経過し、先生の偉業、功績を世に示すべき時期に来ていると思います。これを機会に、新たな資料を整理し、資料をデータベース化するなど編纂、販売を視野に入れて出版に向けて、関係団体等と意見交換し、塙保己一記念館の活性化を図ってほしいが、いかがでしょうか。

答 郷土の偉人である塙保己一思想と偉業を顕彰し、かつ、郷土愛の高揚を図り、もつて遺品等歴史資料の展示及び保存管理を行っている施設です。記念館では、塙保己一の生涯や業績をまとめた「盲目の国学者塙保己一の生涯」を販売し、記念館に展示している収蔵品は「塙保己一記念館展示解説」としてまとめたリフレットを無料配布しています。

【その他の質問】
・本庄市の図書館蔵書の取扱いについて



文化会館の利用における公平性について

高橋 和美(市議団大地)

問 同じ本庄市でありながら、本庄市民文化会館と児玉文化会館では利用者に対する減免の在り方に大きな違いがあります。児玉文化会館では公立学校や幼稚園、保育園は使用料が免除となっていますが、本庄市民文化会館では行政関係以外は免除どころか減免の対象にもなっていません。この不公平を是正し、せめて教育、保育関係の団体は免除なり減免の措置を取るべきではないでしょうか。

答 本庄市民文化会館は指定管理者制度により施設の管理運営を行い、指定管理者があらかじめ市長の承認を受けて利用料金を定めています。利用料金の減免を行う場合には具体的な基準を協定書や仕様書に示し、年間の件数や金額を想定して指定管理料に見込む必要があります。市民文化会館は芸術・文化の活動拠点として多種多様な利用がされており、減免金額等



本庄市民文化会館

【その他の質問】
・小中学生に貸与されているタブレットの活用について

の想定は困難と考えています。児玉文化会館は市が直接管理運営を行っており、市民のコミュニティの拠点として幅広く利用されています。両施設には管理形態や利用状況等に違いがあり、減免を同様に取り扱うことは、現時点では大変難しいと考えます。本庄市民文化会館の管理に係る全ての費用は利用料金、指定管理料及び興業等の自主事業からの収入を充てています。減免対象の拡大は、指定管理者の本来得られた自主事業による収入が失われるなど経営圧迫につながる可能性もあることから、難しいものではないかと考えています。（生涯学習課）

本庄市広報観光大使について

山口 豊(自由民主党本庄クラブ)

問 平成29年本庄市にゆかりのある著名人に市の知名度、観光などの情報発信等を図っていただき、本庄市広報観光大使の方が就任されました。現状で市民の知名度はほぼ皆無の現状ですが、現在の大使の活動状況、大使の就任条件、また、現在ヴァンフォーレ甲府で活躍中の飯島陸さん、武隈部屋所属、豪正龍(木村豪斗)さんなど若く活躍している方達の今後の就任予定をお伺いします。

答 現在の大使は、歌手の黛英里佳さん、井上小百合さん、プロサッカー選手の内田航平さんに就任していただいています。大使の主な活動はこれまで市関連事業への出演や市PR名刺の配布、市の刊行物への掲載等にご協力いただいています。コロナ禍により、大使としての活動も少なくなっていますが、SNSでト出演等に限らず、SNSで



本庄市広報観光大使応援コーナー

【その他の質問】
・本庄市の移住定住施策の取り組みについて

も随時情報発信にご協力いただいています。大使の就任条件は、要綱において、「市内に在住し、在勤し、若しくは在学する者又は市にゆかりのある者」で、「文化、芸術、スポーツ等の分野において顕著な活躍をしている者」に委嘱すると定めています。議員ご指摘のとおり、現在の大使の他にもスポーツや芸能の分野で活躍している本市にゆかりのある方がいます。現在の大使の任期は令和5年9月30日までであり、任期更新を迎えるにあたり、効果検証や事例研究を行う中で、新たな大使の就任についても方針を検討していきます。（広報課）

公共施設の男性トイレへサニタリーボックス設置について

清水 静子(公明党)

問 2人に1人はがんと診断される時代。その中で男性特有のがんもある。女性トイレの個室には当たり前にあるサニタリーボックスが男性トイレにはない。男性の方が多い膀胱がんや前立腺がんの方には尿漏れパッド等を捨てる所が必要と思う。本庄市はパートナーシップ宣誓制度もいち早くできた。トランスジェンダーの方などにも大事なことでないか。男性トイレに設置を要望する。

答 病气や加齢等の原因から、尿漏れパッド等を利用者がサニタリーボックスを必要としていると報道され、男性用トイレにも設置すべきとの機運が高まっており、本市でもサニタリーボックスを設置することについては、前向きに進めていくべきと考えています。市役所本庁舎は、今年度からトイレ改修工事を予定して



サニタリーボックス設置例

【その他の質問】
・コロナ禍の原油高騰・物価高騰に対する対応について
・自動販売機と3Rの取り組みについて

おり、男性用トイレも含めた全ての個室にサニタリーボックスを設置することとしています。設置にあたっては、一般ごみを投入してはならないこと、使用済みパッド等はペーパーやビニール袋等に包んで投入することなどを記載した掲示を行い、利用方法についても周知をしていきたいと考えています。市役所本庁舎以外の公共施設においても、施設管理所管課でサニタリーボックスの必要性を踏まえた上で、施設の実情に併せて検討を進めていきます。（財政課）

小学校の余裕教室を活用した 学童保育について

矢野間 規(市議団きせき)

問 年々児童数が減っている中、小学校の余裕教室を活用した公設民営の学童保育の設置を提案する。藤田小学校内にある公設公営の学童保育と異なり、公設民営の場合、市と学童との責任区分ができないのはなぜか。また、子育て支援として公設民営の運営であれば、より充実した学童保育の運営が出来るようになるが、公設民営とした場合、どのような課題があるのか教育委員会の考えを伺う。

答 小学校施設に学童保育を併設したり、一部を学童保育施設として活用することは、児童が校外に移動することなく、スムーズに学童保育事業へ移行でき、保護者の安心にもつながるなど大きなメリットがあります。一方で学校は、児童生徒の学習の場としての本来の機能が有り、学校としての学習環境の維持や学校のプライバシー等も含めた安全確保が必要です。



【その他の質問】
いじめの対応について

(学校教育課・子育て支援課)

余裕教室を活用した公設民営の学童保育の設置は、管理上、施設を物理的に明確に区分し、運営することが望ましいと考えますが、防犯上、施設整備等学校の実情に応じた課題もあり、区分は難しい状況です。現在の公設公営である藤田学童保育室とは違う課題も想定され、運営経費等についても光熱費等も含め学童保育室に係る経費を明確に区分する等の課題があります。学童保育の充実には子育てしやすい街づくりの大切な要素であると考えています。公設民営の学童保育の実施については、今後も管理面の課題解決に向けた研究をしていきます。

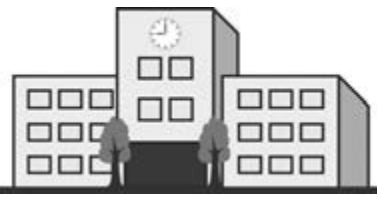
市立中学校の 部活動について

門倉 道雄(市議団未来)

問 スポーツ庁を中心に公立中学校運動部活動の教職員の働き方改革を含む地域移行の議論がある。本市には市立中学校が4校あるが多数の部活動を少子化が進む今後、維持していくのは困難である。中学校には、部活動を行う場所と道具・人材と伝統がある。市内には各種団体・経験者がいる。教職員の兼業兼職という方法もある。どうマッチングし、課題を解決するのか。今後の方針を伺う。

答 部活動は全国的にも少子化や教員の働き方改革など、部活動の持続可能性という面もその厳しさが増していると言われております。部活動の地域移行については、まずは、運動部活動を令和5年度から3年間をかけて、本市の実情にあった方策で、休日の部活動の地域移行を進めていく必要があります。文化部活動は今後出される国の提言等の内容を注視しながら検討を進めます。地域移行の進め方、費用負担の在り方、指導者の確保やマッチング方法など、先行実施している事例の成果などを研究し、本市の実情に合った形での部活動の地域移行を進めていきます。地域移行した場合は、色々なチームが学校の体育館を使いたいという希望が想定され、その調整は今後の課題として検討していきます。また、教員の兼業兼職については、その考え方、費用負担の在り方、労働時間管理等を整理していく必要があります。今後、国や県の動向を注視し、生徒や教員によって最も望ましい部活動環境の構築と働き方改革も考慮した持続可能な部活動の推進を目指して取り組んでいきます。

(学校教育課)



(仮称)上武空港構想による 本庄市の可能性について

広瀬 伸一(自由民主党本庄クラブ)

問 埼玉県北部と群馬県央の地政学的な現状を俯瞰すれば、上武広域圏連携はこれからの本庄市にとり重要です。様々な機能連携を検討する中で、新幹線という口ジステイクスを更に高めるためにも多様な交通の結節機能を高めることが本庄市の未来づくりには不可欠となります。前橋市が構想している(仮称)「上武空港構想」の実現に向けて連携すべきご提案しますが、市長の見解を伺います。

答 (仮称)上武空港構想は、生活・経済圏において結びつきの強い前橋市周辺や埼玉県北部の地域での医療や経済分野などの連携を呼びかける中で、この地域のさらなる発展のために空港を設置する構想であると伺っています。上武空港が建設された場合の本市のポテンシャルについては、空港が設置され、利用客が見込めることにより



未来へはばたく上武空港構想

【その他の質問】 企業誘致(工場立地)の推進について

答 (企画課) 北関東地域における人の往来が増えることになれば、本市もその恩恵を受ける地域となることが予想されます。道路や鉄道に加えて、航空による移動の可能性が増えることにより、交通の要衝として本市の優位性がさらに高まることや、観光入込客数や関係人口が増加する可能性も考えられます。ご提案を受け、既存の発想にとらわれない考えや広域的な視野を持つことの大切さを改めて認識しました。今後、本市としてどのように関係していくことがよいか、多角的に研究をしていきたいと考えています。

問 (企画課) 学校のプールについては、維持管理費、老朽化対策、水泳教室の質の向上、水質管理や安全管理における教職員の負担軽減など、様々な課題が指摘されていることから、本庄西小学校をモデル校に選定し、水泳授業を湯かっこで実施することとしました。選定理由は、各学年2学級の平均的な児童数であること、湯かっこまでの距離が平均的な位置にあること、

小学校の 夏休みプール教室・検定の 実施について

谷田 裕之(市議団大地)

問 (学校教育課) 本庄西小が水泳授業を試験的に湯かっこで行う事になり、天候を気にする必要がなくなったのは良いがプールの故障によるものか水泳授業は行いが、目標や楽しみにしていた夏休みのプール教室・検定が行われないのは何故なのか。プールはこのまま修理をせずに放置したままなのか今後の予定を知りたい。また来年以降は他の中小学校でも湯かっこの利用を検討しているのか。

答 (学校教育課) 学校のプールについては、維持管理費、老朽化対策、水泳教室の質の向上、水質管理や安全管理における教職員の負担軽減など、様々な課題が指摘されていることから、本庄西小学校をモデル校に選定し、水泳授業を湯かっこで実施することとしました。選定理由は、各学年2学級の平均的な児童数であること、湯かっこまでの距離が平均的な位置にあること、



【その他の質問】 小中学校図書室の管理・運営について

問 (学校教育課) プールの故障の3点です。夏休み中の水泳教室やプール開放は、学校において様々な業務がある中で、教育的効果と教員の負担軽減を総合的に考え、縮小する方向となっています。そのため、本庄西小学校の水泳教室やプール開放は、計画していません。泳力検定については、湯かっこでの授業の中で行うことを計画しています。本庄西小学校では、来年度も湯かっこを利用した水泳授業を実施したいと考えており、プールの改修予定はありません。また、来年度以降は、実施する学校数を増やしていく方向で考えています。

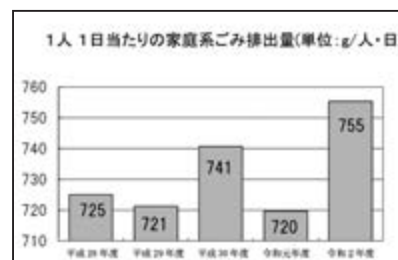
答 (学校教育課) 本市のリサイクルの取組については、団体向けには、PTAや自治会等の団体に回収量に応じて報奨金を交付する集団資源回収事業などを行っています。一般家庭向けには、生ごみの減量化に資するダンボールコンポスト講習会、生ごみ処理容器等の購入に対する補助などを行っています。また、事業者向けには、ごみ減量・リサイクル協力店認定制度などで事業者と行政が相互に協力して

本庄市の持続可能な 開発目標への 取組について

巴 高志(市議団きせき)

問 (気象変動、感染症そして経済格差など、私たちの未来は脅かされています。このような状況の中、2015年9月に国連で「我々の世界を変革する」持続可能な開発のための2030アジェンダ」が採択されました。この17の目標の中で、本庄市が取り組んでいるリサイクルについて質問します。市の取組状況と今後の目標や課題についてご説明下さい。

答 (環境推進課) 本市のリサイクルの取組については、団体向けには、PTAや自治会等の団体に回収量に応じて報奨金を交付する集団資源回収事業などを行っています。一般家庭向けには、生ごみの減量化に資するダンボールコンポスト講習会、生ごみ処理容器等の購入に対する補助などを行っています。また、事業者向けには、ごみ減量・リサイクル協力店認定制度などで事業者と行政が相互に協力して



本庄市の家庭系ごみ排出量の推移

【その他の質問】 デジタルトランスフォーメーションへの取組について

答 (環境推進課) 今年度は、生ごみ処理容器等の補助金について120基の導入を目標としています。また、ごみ分別方法や排出日の情報等を取付できる「ごみ分別アプリ」の導入割合20%を目標に取り組んでいます。ごみ減量化及びリサイクルの推進には、市民の皆様、事業者それぞれが自らの役割を認識し、主体的に取り組むことが不可欠です。各事業を着実に展開しつつ、効果的、効率的な施策を調査研究、事業化にも努め、広く周知・啓発し、環境にやさしいまちづくりを推進していきます。

降ひよう被害と 対策について

柿沼 綾子(無党派)

【問】 稀にみる甚大な損害をこうむった6月2日のひよう被害の全容、被害総額、今後の市の補助などについて伺いたい。

【答】 住宅被害については、窓ガラスの破損等が1022件あり、住宅以外にも車両やカーポート等の被害が相当数報告されています。農業被害については、農作物の被害面積が約400haで、農業施設と併せた被害総額は6億4千万円と見込まれています。農業者への支援は、国や県の動向を注視し、市としての支援について検討しています。

初動の対応等については、まず消防本部に人的被害の有無を確認しました。その後、窓ガラス等の破損への応急対応として、翌日の朝からブルーシートの配布を開始し、災害ゴミの受け入れもクリーンセンターと調整し無料としました。当初備蓄していたブルーシートの配布が早々に終了した点は、今回の経験を踏まえ、今後には生かしていきます。なお、今回のような窓ガラスの破損では難しいですが、住宅の半壊以上の大きな被害に対しては、見舞金の支給制度があります。ご提案の助成制度等については、今後の課題と考えています。

【その他の質問】 本庄駅北口周辺整備基本計画の実施について



割れて応急処置をした保育園のガラス窓

初動の対応等については、まず消防本部に人的被害の有無を確認しました。その後、窓ガラス等の破損への応急対応として、翌日の朝からブルーシートの配布を開始し、災害ゴミの受け入れもクリーンセンターと調整し無料としました。当初備蓄していたブルーシートの配布が早々に終了した点は、今回の経験を踏まえ、今後には生かしていきます。なお、今回のような窓ガラスの破損では難しいですが、住宅の半壊以上の大きな被害に対しては、見舞金の支給制度があります。ご提案の助成制度等については、今後の課題と考えています。

17号バイパス開通に併せた新たな拠点づくりについて

山田 康博(市議団きせき)

【問】 令和4年内神流川橋開通・国道462号線以東二期区間6.1キロの新規事業化の計画が着々と進む中、このエリアを中心として本市においても長期的な視点でランドマークとなる拠点づくりを推し進めていくべきと考えます。他地域との差別化、魅力の発信、近年の災害に対する備え等に鑑み、防災強化を主とする「道の駅」の開設を提案する。このエリアの将来ビジョンと併せ見解を問う。

【答】 国道17号本庄道路沿道地域は、概ね平坦で安定した地盤で、北は利根川に面し豊かな水と肥沃な大地に恵まれた花と野菜の一大産地です。沿道地域の適正な土地利用に関し、優良農地の保全といった農業政策との調和を図りつつ、市の進むべき将来を見据え有効活用していくことがまちの活性化にとつて非常に重要であると認識しています。

近年、全国各地で自然災害が頻発化・激甚化し、市民の皆様は防災意識の高まりから今後の災害への備えを更に強化する必要があります。ソフト・ハード両面で様々な手法が考えられ、防災物資ターミナルのような広域的な防災機能を有する施設に道の駅を併設することも防災強化の観点から有効な手法と認識しています。沿道地域は多くが農振農用地や浸水想定エリア内にあり、活用には解決しなければならぬ課題があります。市だけで整備することは難しいため、様々な方々から意見を伺うなど検討を進めていかなければならないと考えています。



関東・甲信地区にある防災道の駅

【その他の質問】 個人情報保護の壁について

近年、全国各地で自然災害が頻発化・激甚化し、市民の皆様は防災意識の高まりから今後の災害への備えを更に強化する必要があります。ソフト・ハード両面で様々な手法が考えられ、防災物資ターミナルのような広域的な防災機能を有する施設に道の駅を併設することも防災強化の観点から有効な手法と認識しています。沿道地域は多くが農振農用地や浸水想定エリア内にあり、活用には解決しなければならぬ課題があります。市だけで整備することは難しいため、様々な方々から意見を伺うなど検討を進めていかなければならないと考えています。

本市を襲ったひよう害について

穂田 平一郎(市議団きせき)

【問】 6月2日に本市を襲ったひよう害は、共和地区、今井地区周辺を中心に、今までにない大きな被害を及ぼした。特に農業被害は甚大で、温室やビニールハウス、倉庫に穴があき、出荷前の作物にも影響。小麦や露地野菜、農機械にも被害があった。今後、国、県からの支援、補助が早期に望まれるが、市からの要請や取組について伺う。また市の補助はあるのか。今後の取組、方針を伺う。

【答】 降ひようにより、特に農業では、今後の営農活動を左右しかねない状況になっています。地元代議士の被災状況の現地視察に同行し、早急な国の支援を要望させていただきましたが、現在のところ、国からの具体的な支援策は示されていません。また、県へ被害状況を報告し、県と市では当該災害を特別災害として指定しました。指定に伴う補助の要件は、農作物

おもな案件②

◆令和4年度本庄市一般会計補正予算(第5号)

降ひよう被害を受けた農家に対する生育回復に必要な肥料代、次期作等に必要な種苗代の購入費等の補助など歳入歳出それぞれ6億6932万3000円を追加し、総額を歳入歳出それぞれ303億4180万9000円とするものです。



◆令和4年度本庄市水道事業会計補正予算(第1号)

新型コロナウイルス感染症への対応、原油・物価高騰等に直面する経済的負担軽減を目的に令和4年9月から令和5年2月まで水道基本料金を免除し、必要なシステム改修等の経費を追加するものです。

議員提出議案

7月臨時会では、議員から

◆児童虐待防止に関する決議

全国的に児童虐待が増加の一途を辿り社会問題になってきたことを受け、平成12年「児童虐待の防止等に関する法律」が施行され、児童に対する虐待の禁止、児童虐待の予防及び早期発見、児童虐待の防止に関して、国及び地方公共団体の責務、児童虐待を受けた児童の保護及び自立の支援のための措置等が定められた。

しかし、現在においても、各地で虐待は繰り返されており、本庄市においても令和4年3月に幼児に対する虐待による死体遺棄という事件が発生した。幼い命が奪われるという痛ましい事件に胸が痛むと同時に、二度と子どもが命が奪われることのないよう、虐待を未然に防止するための取組が強化されなければならない。

本庄市議会は、地域住民や各種団体などと連携を図りながら虐待の早期発見に努め、子育てを社会全体で支援していくとともに、国・県などの

◆総務常任委員会

6月定例会における各委員会の審査内容について主なものを紹介いたします。

◆第41号議案 和解について 相手方の資産に対する担保設定などについて質疑しました。付託議案3件について、すべて可決すべきものと決しました。

◆厚生文教常任委員会 第40号議案 本庄市子ども医療費支給に関する条例の一部を改正する条例

県内の医療機関で現物給付を実施しない病院などについて質疑しました。付託議案2件について、いずれも可決すべきものと決しました。

◆17号バイパス及び幹線道路整備対策特別委員会

国道17号バイパス本庄道路及び県道花園本庄線など幹線道路の現地視察を行いました。



現地視察の様子

◆交通政策及び観光政策特別委員会

籠原駅以北までの15両編成列車の延伸、八高線にサイクルトレインやSL等の臨時列車を運行することなど、JR東日本高崎支社へ要望活動を行いました。



要望活動の様子